

信頼される学校づくりに向けての不祥事防止対策

1 飲酒運転の根絶

- 飲酒運転は深刻な事故につながり、場合によっては自分や他人を死亡させることにもつながりかねない、重大な法律違反である。

その根絶のために…

- ・ 飲んだら絶対に運転しません。
- ・ 懇親会等で飲酒するときは、会場からの帰宅手段をあらかじめ決めておきます。
(開宴前に運転代行を頼みます。)

2 体罰、暴言等行き過ぎた行為、不適切な指導等の根絶

- 体罰は、児童生徒の人格を傷つけ、人権を侵害する行為である。

その根絶のために…

- ・ 心に余裕をもち、感情的な指導にならないように、自身の感情をコントロールします。
- ・ 威圧的にならず、生徒に届く言葉で指導します。
- ・ 聴き合う関係性を構築し、人権感覚・多様性を尊重します。

3 性的な関心や欲求に基づく、わいせつ事案等の根絶

- 性暴力は、被害者の尊厳を著しく踏みにじるものであり、生涯にわたり重大な悪影響を及ぼすもので、絶対にあってはならない行為である。

その根絶のために…

- ・ 複数の教員で対応します。密室での対応にならないよう、部屋のドアを開ける等の対策を行います。
- ・ 個人のスマートフォン等は、原則、各自が職員室で適切に管理し、校内で持ち歩きません。

4 個人情報の適正な管理保管の徹底

- 生徒の個人情報の紛失・流失・誤廃棄は、生徒やその家族に多大な不利益をもたらす行為である。

その根絶のために…

- ・ 生徒の個人情報に関わる電子データ、答案用紙等は、持ち出しません。やむを得ず校外に持ち出さなければならない時には、必ず校長の許可を得て、「文書等帯出確認票」に記入します。
- ・ 職務上知り得た秘密を他人に漏らしたり、他人に聞こえるような場所で話題にしたりするようなことはしません。

5 その他

教職員による不祥事は、生徒・保護者・地域からの信頼を損なう、あってはならない行為である。

その根絶に向け…

- ◎教育公務員としての自覚を常にもち続け、コンプライアンスを自分事として本気で考えます。
- ◎教職員が一丸となり、相互に言動について指摘し合える「風通しのよい、働きやすい、働きがいのある」職場環境づくりや人間関係づくりに努めていきます。

行方市立麻生中学校では、教職員の服務規律の確保の徹底を図るために、継続的・計画的に校内研修を実施し、教職員の不祥事を根絶し、信頼される学校をつくってまいります。

令和7年 4月1日
行方市立麻生中学校長